

広域行政対策特別委員会

- 1 開催日時 平成 27 年 1 月 21 日（水） 11 時 01 分～12 時 05 分
- 2 開催場所 第二委員会室
- 3 説明員 総合政策部長および関係職員
- 4 議事の概要

（1）関西広域連合について

関西広域連合委員会等の結果概要について、委員からは、関西電力の電気料金の値上げに対する連合からの申入れに関連して、連合として原油価格の下落を踏まえ火力発電を推進するという立場をとる場合には、連合の温暖化対策などの環境行政、再生エネルギーの導入計画との整合性をどう取っていくのかに加え、関西における電源構成について連合として考えを持つべきではないかとの意見が出された。また、現在の関西広域連合の事務の多くは、連合という組織でなければ行えないものでなく、広域連携でも十分執行が可能なものではないか、更に現在、「企画調整事務」という名のもとに、連合規約に明記されていない幅広い領域の事務が行われていることについて、立ち止まって考えることが必要ではないかなどの意見も出された。

なお、「危険ドラッグ」と「京滋ドクターヘリ」については、前回の委員会において十分な説明が行われず、今回の委員会にて報告がされたが、委員からは、危険ドラッグに係る条例は、旧薬事法の改正という要因はあるものの、関西広域連合の他府県が既に条例制定を行っている現状を考えると、本県における対策や取組が遅れているのではないかとの意見、京滋ドクターヘリについて、広域連合による導入・運航であり、県の所管部局としての当事者意識が薄いのではないか、仮に本県でヘリを単独導入していた場合は、より早期に導入が可能となっていたのではないかなどの意見が出された。



委員会で配布された資料

- 1 第 52 回関西広域連合委員会等の結果概要について（報告）
- 2 関西広域連合における危険ドラッグ対策について
- 3 ドクターヘリ性能比較表等